



身近なところにある福祉
～福祉学習(バリアフリー探し)の様子～



美浜町社協
イメージキャラクター
「こころくん」

今月の特集

みんなが支え合う
地域づくりとは？



※記事は2ページ

～民生児童委員・福祉委員合同研修会～

1月の行事予定

※変更となる場合がございますので、事前に社協までお問合せのうえ来館ください。

5日 心配ごと相談 (13時～15時)

12日 心配ごと相談 (13時～15時)
※司法書士法律相談 (13時～15時、要予約)

19日 心配ごと相談 (13時～15時)
※弁護士法律相談 (13時～15時、要予約)

26日 心配ごと相談 (13時～15時)

(※法律相談事業は、賛助会費を財源として実施しています。)

はあとびあのイベント

9日 結婚相談(10時～12時)

訂正とお詫び

社協だより11月号において、表紙の記載内容に誤りがございました。下記の通り訂正させていただきます。ご迷惑をおかけいたしましたことを、深くお詫び申し上げます。

(訂正箇所)表紙
(誤)河原区 (正)河原市区

賛助会費にご協力いただき
ありがとうございます

栄区 木下修一さん
佐田区 澤井美恵子さん

年間を通じて募集しています。
皆様からのご協力をお待ちしています。

「ふくいSDGsパートナー」に登録しました

「ふくいSDGsパートナー」とは、未来を担う次世代(子ども、若者、子育て世代)に福井の良さを継承し、希望を持って自分らしくチャレンジできる環境をつくるため、SDGsの理念に沿って主体的に実践するとともに、ネットワークを活用して活動の幅を広げていくことを目的として福井県が創設したものです。

当会では、第4次地域福祉活動計画にSDGsの理念を反映させて、持続可能な福祉のまちづくりをすすめていきます。

《美浜町社協のSDGs達成に向けての宣言》

ひとりの幸せのために みんなで育む「ほっとかない」まちづくりを進めます。

- みんなで集落がもつ「力」を高めます。
- みんなが「つながる」しくみをつくります。
- みんなで「支えあえる」しくみをつくります。
- みんなで「しらせ」をつなげます。
- みんなが「活躍できる」場面をつくります。

杉本知事から登録認定証を受け取る坂田会長(11月12日)
福井県県民ホール



ありがとうございます

令和二年 十一月二日～三十日

【社会福祉事業基金】

心よりお悔み申し上げます

宇都宮陽さん(佐柿)より、故繁さんのご香典の一部

【使用済み切手】
川崎仙治さん(早瀬)
とく名さん

【その他】
各種サービスにいただきました

塚原千恵子さん(興道寺)より、野菜

伊藤定雄さん(和田)より、福祉用具

中橋洋子さん(南市)より、調理器具

村上正治さん(宮代)より、野菜

とく名のみなさんより、日用品、介護用品、野菜

「でんでんむしの家」にいただきました

八木賢さん(郷市)より、野菜

とく名のみなさんより、果物、介護用品、野菜、日用品、花

【弥子門さん家】にいただきました
石丸幸一さん(山上)より、果物

とく名のみなさんより、果物、野菜、菓子

【吉右門さん家】にいただきました
澤井美智子さん(佐田)より、野菜

※氏名、名称、金額、品名などについて、了解を得た方のみ掲載させていただきます。

発行：社会福祉法人

美浜町社会福祉協議会

(美浜町保健福祉センター「はあとびあ」内)

〒919-1141 美浜町郷市25-20
TEL (0770) 32-1164 FAX (0770) 32-5915
http://www.mihamachoshakyo.com
E-mail shakyo1164@kl.mmnet-ai.ne.jp



美浜町社協公式LINE
アカウントあります!

福井県 美浜町社協 検索

あけましておめでとうございます。本年もうそろそろしくお願いたします。さて、今月号では2つの交流イベントを取り上げました。コロナ禍で外出が難しくなっている昨今ですが、行先を県内に限定し、また感染防止対策も徹底したうえで実施しました。終息を見せないコロナウイルスですが、その中でもつながりが途絶えないように、様々な取り組みについて「どうしたらできるか」を考え続けていきたいと思っております。

塩浜

編集後記

12月2日(水)はあとびあの調理室にて、料理教室を実施しました。今回は、包丁を使わない「ひとり鍋」、「里芋の煮ころがし」、炊飯器をつかった「大根の煮物」を作りました。

参加者からは、「炊飯器を使った煮物なんて初めて。」「里芋は包丁を使わずに剥けるのね。」「といった驚きや、「最近が集まれる場所がないので久しぶりに外に出る機会がもてよかった。」という感想も聞かれました。



里芋の皮むきの様子

料理教室開催!



次回予告

1月20日(水)
10:00~12:00開催
(場所:はあとびあ調理室)

詳細は美浜町社協までお問合せください。
※密を防ぐため、先着4名とさせていただきます。



とてもおいしく出来上がりました

介護者同士の交流会

—要介護者を抱える会「はげまし会」—

11月26日(木)、在宅介護者の方々が息抜きできる場、また介護の相談事や悩みを共有できる場として、日帰りの食事が開催されました。食事後はマスクを着用し、座席もできるだけ離れた状態での歓談となりましたが、参加者からは「今年は開催が難しいと思っていたけど、参加できてうれしい」との声が聞かれました。



歓談する参加者

よいリフレッシュの機会となりました



在宅障がい児(者)交流支援事業

11月21日(土)、町内の障がい児(者)の方同士の交流の機会として、日帰り旅行を開催しました。久々に会う参加者同士が声をかけあう姿も見られ、充実した時間となりました。



恐竜博物館では大きな全身骨格にびっくり



セーレンプラネットで宇宙を体感

謹賀新年



美浜町社協理事・監事

旧年中は、当会に対しご理解とご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。あたり前だと思っていた日常が一変し、普通に生活できる事の有り難さ、大切さを、改めて感じた一年でした。

コロナ禍が、一日も早く収束する事を願いつつ、現状の中で出来る事を柔軟に考え、役員一丸となって、事業を進めていきたいと思っています。

本年も、何卒よろしく申し上げます。

みんなが支え合う地域づくりとは?

民生児童委員・福祉委員合同研修会

11月15日(日)美浜町保健福祉センターはあとびあで民生児童委員・福祉委員合同研修会を実施しました。集落内での見守りや住民の身近な相談窓口として活動されている民生児童委員と福祉委員、社協理事・監事・評議員、町健康福祉課職員、社協職員総勢90人が参加し、ご近所福祉クリエイターの酒井保氏に「コロナ禍と支えあい」をテーマに講演をいただきました。



席の間隔を空けて座っていただきました。

講演内容の要約



酒井保さん

- ◎健康寿命を延ばすために必要なことは、つながり(人間関係、社会性)、つまり地域の支えあいである。
- ◎社会性の低下が、運動機能の低下を招く。
- ◎「コロナ禍で「新しいつながり」はできないだろうか」と考えることが大事。今、何をやるかが、「コロナ終息後の地域をつくる」。
- ◎「支えあいの評価」は、数値化されない日常的な人と人とのかわりがどれだけあるか、ということ。「隣のおいちゃんに、おかずをお裾分けしよう。」など、自分のまわりに何を
- ◎「気になる」という感情が支えあいの動機となる。お互いに「気にかけて」「声をかけあう」そんな地域づくりをしていくことを意識する。
- ◎「社会性+役割+社会参加」なので、ふれあいサロンを開催するということは、自分の集落の高齢者の社会参加を助けているということ。そしてそれは、フレイル(虚弱)予防になる。



山口 剛さん
(太田区民生児童委員)にお話を聞きました。

ふれあいサロンについて、今年はいくつかの感染予防のために、みなさん「一番楽しみ」にしている「おしゃべり」をメインにすることができません。おしゃべり以外に楽しめることはないかと考えている時に、酒井保さんのお話を聞きました。高齢者のみなさんが健康で長く地元で暮らすために何が大事なのかを話してくださいましたので、11月28日(土)に開催したふれあいサロンの参加者にも伝えたいと思い、自分なりに話をさせていただきました。

今回ふれあいサロンを開催して、「集える場をみなさんが求めている」と感じました。感染予防をしっかりした上で、みなさんに楽しんでいただけたと思います。